

103-262

問題文

前問で適切と考えられた薬物の薬理作用として正しいのはどれか。1つ選べ。

1. TNF- α (腫瘍壊死因子- α)を捕捉する。
2. 咳中枢に作用して咳嗽反射閾値を上昇させる。
3. 気管支平滑筋のGタンパク共役型受容体を刺激する。
4. 細胞質において受容体と結合し、この複合体が核内へ移行した後に転写活性を変化させる。
5. TGF- β (トランスフォーミング増殖因子- β)を捕捉する。

解答

問262 : 1問263 : 2問264 : 5問265 : 4

解説

問262

問263 とあわせて解説します。

問263

メトトレキサートは、葉酸代謝拮抗機序をもつ免疫抑制剤です。ジヒドロ葉酸レダクターゼ阻害薬です。葉酸（フォリアミン など）がメトトレキサート（MTX）の副作用予防のため用いられます。

従って、問262 の正解は 1 です。
問263 の正解は 2 です。

ちなみに、問262 選択肢 2 のトファシチニブ（ゼルヤンツ）の作用機序が、問263 選択肢 4 のヤヌスキナーゼ（JAK）阻害です。

以下、問262 選択肢 3 デキサメタゾンと対応するのが、問263 選択肢 5 です。
問262 選択肢 4 エポエチンアルファが対応するのが、問263 選択肢 3 です。
問262 選択肢 5 タクロリムスが対応するのが、問263 選択肢 1 です。

問264

問265 とあわせて解説します。

問265

間質性肺炎には、ステロイドが用いられます。

ピルフェニドンは、特発性肺線維症等の治療に用いられる抗線維化薬です。間質性肺炎に用いる薬剤ではありません。

テルブタリンは β_2 受容体刺激薬です。喘息に用いられます。間質性肺炎に用いる薬剤ではありません。

インフリキシマブは、遺伝子組み換え抗ヒトTNF- α モノクローナル抗体です。関節リウマチ治療薬です。間質性肺炎に用いる薬剤ではありません。

デキストロメトルファンは、非麻薬性中枢性鎮咳薬です。間質性肺炎に用いる薬剤ではありません。

プレドニゾロンは、ステロイドです。細胞膜を通過して細胞質内に入り 核内受容体などと結合することで、遺伝子活性化を引き起こし、作用を発揮します。

以上より、問264 の正解は 5 です。

問265 の正解は 4 です。

ちなみに、問264 選択肢 1 のピルフェニドン の主な作用機序が 問265 選択肢 5 です。

以下、問264 選択肢 2 テルブタリンと対応するのが 問265 選択肢 3 です。

問264 選択肢 3 インフリキシマブが対応するのが、問265 選択肢 1 です。

問264 選択肢 4 デキストロメトルファンが対応するのが、問265 選択肢 1 です。